

キラリ★ はたちの 夢 AND トーク

21世紀のまちづくりを考える



三木 雅裕さん(四高)

小さい頃からスポーツをやってきたのでスポーツに関わる仕事をして、スポーツのすばらしさをみんなに伝えていきたい。



大城 千夏さん(五中)

将来の夢は小・中学の社会科の教師。教育に関わるボランティアもやっていきたい。趣味や特技は、小学生から続けているバレーボール。



松村 優香さん(六中)

趣味は書道。11年以上続けていて、師範をとるまで頑張りたい。将来は患者さんの立場になって考えて行動できる看護師になりたい。



堤 夕躬さん(七中)

今後は看護師・保健師の免許を取得し、企業や会社の職員の皆さんの健康指導やメンタル面でのサポートをしていきたい。

【三木】 高校から東京に行っているため、松原市には5年ぐらい住んでいませんが、久しぶりに帰ってきて松原市内のスポーツ施設とか公園などが、自分がいたころより整備されていることに驚いています。子どもたちがゲームなどで家にもるといったことが社会でも問題になっているので、子どもたちがもっと外で遊ぶことに魅力を感じられるような施設を作るなど、良い環境を整えてほしいと思います。

【大城】 自分が受験するときに松原図書館の自習室を利用していました。利用者がとても少なかった。冷房がきいていて勉強しやすい環境なのにもったいないというのが印象で

この前も母とのウォーキングの最中に元希者の方と話をする機会があった。自分も母親から聞いて自習室のことを知りましたが、まだまだ知らない人もいると思うので、せっかくの取り組みがもったいないと感じました。学校にも協力してもらって周知していったほうがいいと思います。

大学の教育実習では、いきなり模擬授業なので、子どもに宿題を教えるなど、子どもと関われる機会があればいいと思います。市と大学で何かボランティアの募集をするなど、一緒にできる取り組みがあればいいと思います。

【松村】 松原市は元希者の方が多いと普段の生活の中で感じる事が多いです。また元希者の方と話す機会が多いです。今度、まつばらテラスがオープンするとう記事を見ました。幅広い世代と関わるこのまつばらテラスはとてもいいと思いました。

あつたのですが、それがすごくいいなと感じています。

市長が掲げておられる3つの柱には「長生き日本一に」というものがあります。元希者の方が元気で過ごしやすいまちになればいいなと思います。

【堤】 友人が結婚したり、自分もこれから結婚していく身として、結婚する新婚世代に対して施策が少ないような感じがします。成人になって市外に出て行く人も多くなっていくと思うので、そんなと松原市の高齢化が進んでいくのではないかと思います。若年層が、松原市で結婚し、住みたいと思えるように、例えば結婚式の補助や祝い金を給付するといった工夫があればと思います。



▲市長や教育長を囲んで意見交換が行われました

市では毎年、新年の幕開けに新成人を市役所へ迎え、市長、教育長とテーブルを囲み、将来の夢や抱負、また松原市に対するさまざまなご意見をお聞きしています。

今回は松原市の新成人1,470人の代表として各中学校から7人を市役所にお迎えしました。「21世紀のまちづくりを考える キラリ★はたちの夢&トーク」と題したこの催し。

紙面の都合上、一部しかお伝えすることができませんが、今回いただいた貴重なご意見を今後の市政運営の参考とさせていただきます、良好なまちづくりを一層進めていきます。

▶問合せ 市民協働課 (☎337-3103)

★松原市に対して思うことは？

【加藤】 昨年、骨折をしてはじめて「ぐるりん号」に乗りました。このときに周りを見渡すと元希者の皆さんがたくさん利用していました。皆さん助かっている様子で、けがをした人や、妊婦さんにもこんなふうに無料で乗れる市内公共循環バスを利用していただけたらなと思いました。その他にも細かいサポートがあれば教えていただきたいです。

松原は私の生まれ育ったまちで、とても大好きなところなので、これからもっとより良い市として繁栄し続けてほしいと思います。

【池田】 今後、高校で使われる家庭科の教科書に載る「LGBT」についての話をする機会がこれからもっと増えていけばいいと思います。子どもは学校で習うようになるけれど、親が言葉自体わからない、先生もはっきりよくわからないということになるので、その当事者に話を



加藤 千登世さん(松中)

映画鑑賞や母と料理をするのが好き。自分を今まで育ててくれた社会に恩返しができるよう、学んだことを生かして社会に貢献できる職につきたい。

中学・高校の家庭科教員になるのが夢。資格取得にも挑戦したい。サークルは軽音楽部でキーボード担当。染物部にも所属している。



池田 一貴さん(二中)

機会をつくってもらって、理解してもらったらいなと思います。(※LGBTとは、女性同性愛者、男性同性愛者、両性愛者、性同一性障害などの英語の頭文字をそれぞれ合わせた、性的少数派を表す言葉)

【中野】 松原市の経済発展や地域活性化のためにマスコットキャラクター「マッキー」をもっと全面的に押し出してほしいと思います。例えばマッキー公園などをつくってお母さんが遊んでいる子どもの姿を写真に撮って、SNSで拡散してもらうとか、マッキー公園にマッキーのエンブレムを作ってアップすればそれを見た人が、こんな可愛いキャラクターが松原市にいてるんや！と知ってもらえる良い機会だと思います。また、マッキークッキーなどを売って、売り上げなどで市に余裕ができたなら、色々取り組みができると思います。マッキーは可愛いので、もっと押し出してほしいなと思います。



中野 翔太さん(三中)

「新しいことに挑戦してほしい」

今日、皆さんとお話をさせていただいて、しっかり目標をもっておられてとても立派だと思いました。私から皆さんにお伝えしたいことは、新しいことに挑戦してほしいということです。挑戦していくというのは、皆さんが考えている以上に周りの評価もかわっていきますし、影響力も大きいです。自分自身へのステップアップにもつながります。勉強でも趣味でもなんでも結構です。新しいことをやってください。

松原市教育長 東野光弘

それから、成功するには努力が必要ということです。いっきにドーンということではなく、花を育てるように毎日コツコツと、そして毎日できなくても少しずつ継続していくことが力になっていきます。これが大事だと思います。

若いときに見たこと、考えたこと、経験したことが非常に力になります。今後の皆さんの糧になると思います。これから社会は変化が激しいです。夢や志、自信をもって人生を切り開いてほしい。そのためにも私たちが応援しています。努力を惜しまず頑張ってください。

「今まで支えてくれた人達に感謝の気持ちを」

成人式を迎えられた皆さん、心よりお祝い申し上げます。今日は、2つお伝えしたいことがあります。1つ目は、成人の日は感謝する日にしてほしい。皆さんが成人になるまで親や周りのたくさんの方々に支えられ立派に成長されたのだと思います。2つ目は、その感謝の気持ちを、ぜひ言葉に出して行動に移していただきたい。お世話になった方々に恩返しができるようになってほしいと思います。

今朝、松原市消防出初式があり、地域の安心・安全のために日々活躍していただいている方々に、参加してい

松原市長 澤井宏文

ただきました。大学生では阪南大学の学生さんが、消防団のサポーターとして日々活躍してくれています。皆さんのできるボランティアがあります。地域活動があります。いろんなことに興味を持ってください。

これからの松原市や日本を背負っていくのは間違いなく皆さんのような若い世代だと思います。ぜひ、松原市の発展のために力を貸してください。



松原市長 澤井宏文